

経 営 力 評 価 書

会 社 名	〇〇〇〇株式会社
-------	----------

ヒアリング日時 : 令和〇年〇月〇日 〇:〇〇 ~ 〇〇:〇〇

ヒアリング対応者: 代表取締役 〇〇 〇〇 様

令和〇年〇月〇日

評価書発行機関:



Aichi
Industry
Promotion
Organization

公益財団法人

あいち産業振興機構

〇評価書は、事業の成功や融資の実行を約束するものではありません。融資は、金融機関の判断に委ねられます。
〇本評価によって発生したトラブルなどについて、当機構は一切責任を負いません。

目次と評価内容

1. 評価対象企業・事業の概要

提出された書類とヒアリングから、企業概要、直近3期の決算、主要取引先（販売先・仕入先）ならびに事業概要・主な評価対象（製品・技術・サービス等）を記入した。

2. 評価結果

評価項目	評価視点
①独自性・先進性	評価対象の製品・技術・サービスとノウハウ・管理運営技術、ビジネスモデルに関する独自性・先進性について主に評価を行った。 ここでの評価は学術的観点でなく事業的観点に基づくものである。
②優位性	評価対象の競合相手に対する優位性やその維持継続性について主に評価した。製品・技術・サービスの内容だけでなく、営業力、ブランド力、知的財産なども対象とし、環境負荷への適合性等も評価した。
③将来性	対象製品・サービスの市場成長性、今後の市場シェアの動向や競争優位性について主に評価を行った。法令の制定・改正による影響や、代替製品の出現可能性なども考慮の範囲とした。
④収益性・実現性	事業計画（販売の基本戦略や実行計画）について、また戦略にもとづく販売方法や収益力などについて主に評価を行った。 生産・サービス体制も評価の範囲とした。
⑤その他参考事項	事業遂行能力、人材・組織体制、資金調達力などのその他の項目について、総合的な視点で評価を行った。

※各項目を1～5点の5段階で評価した。

3. レーダーチャート

上記①～⑤の5項目について、レーダーチャートとして表示した。

4. 課題と問題点

ヒアリングなどを通して明らかになった評価企業の課題と問題点、今後の事業活動に資するための考えられる解決策を記載するとともに、上記①～⑤に表せない事項、ヒアリング時の質問等に対する回答などを当該欄にてフィードバックした。

5. 総合評価

全評価項目をもとに事業可能性、リスク等を総合的に評価した。
これらの評価は5段階評価（1～5点）とし、さらに「-」「フラット」「+」のいずれかを付加することで詳細な評価を行った。最後に総合評価としての評価コメントを記述した。

1. 評価対象企業・事業の概要

項目	概要			備考
企業名				
代表者				
所在地				
設立				
資本金				
従事者数				
T E L				
F A X				
U R L				
決算 (直近3期)	決算期	売上高	税引後当期利益	単位：千円 最近期を最上段に記す
	○年○月期			
	○年○月期			
	○年○月期			
主要株主(%)				
業種				
主要取引先	企業名		構成比(%)	
	販売先			
	仕入先			
(事業概要)				
(主な評価対象)				
(評価を受ける目的)				

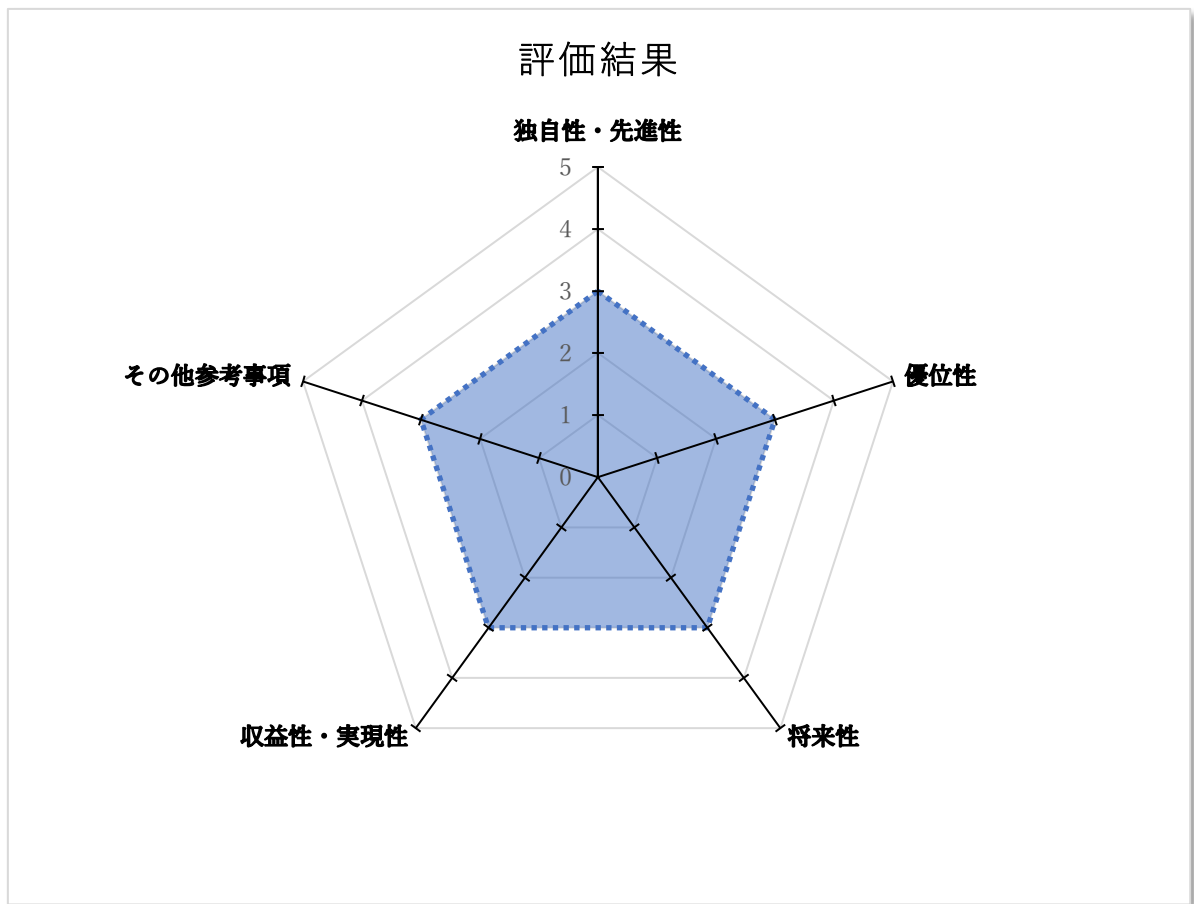
2. 評価結果

	評価コメント					
① 独自性・先進性	評価点数	5	4	③	2	1

②優位性	評価コメント				
	評価点数	5	4	③	2
③将来性	評価コメント				
	評価点数	5	4	③	2

④ 収益性・実現性	評価コメント				
	評価点数	5	4	③	2
⑤ その他参考事項	評価コメント				
	評価点数	5	4	③	2

3. レーダーチャート



4. 課題と問題点

現在抱える課題と問題点	評価コメント

5. 総合評価

評価点数	5	4	③	2	1
------	---	---	---	---	---

評価点数凡例（個別評価項目と総合評価の両方に適用する）

5点＝総合的に極めて優れたレベル。評価の各視点において、優れた要素・事項が極めて多い。

4点＝総合的に優れているレベル。評価の各視点において、優れた要素・事項がある。

3点＝総合的に良いと評価できるレベル。

但し、一部に努力や見直し、あるいは留意すべき要素・事項が含まれている。

2点＝努力・見直しすべきもの、または留意すべき要素・事項が多く、標準とは言い難いレベル。

1点＝極めて高いリスクまたは重大な問題があるレベル。

総合評価	評価コメント

以上